

令和5年度 第56回萩まつり道了祭日程表

世界の恒久平和と人と自然との共生を祈る文化の祭典

大阪にも東照宮があったー権現祭りより萩まつり道了祭へー

特別企画 徳川龜姫寄進の『こより十一面観音』特別開扉と資料展示

☆期間 9月17日(日)～24日(日) ★時間 午前9時～午後5時 ★入山料500円(萩園維持費)

- 17日(日) 開闢 午前10時 開門法要 於：吉祥林大本堂
午前11時～正午 こより観音と龜姫さま 住職による基調法話
18日(月・祝) 午前11時 献笛箏曲奉納 倉橋容堂と無住庵
午後1時 第122回子規忌へチマ供養
選者：ひいらぎ副主宰 越智 巖・藤村たいら先生
- 19日(火) 本年は来春刊行予定の「萩の寺と禪の風」の内容の一部を4回連続して秘蔵の什物をご覧に入れて住職が紹介解説いたします
第1回目は 達磨の掛軸と山頭火の短冊など
曾我蛇足／丘宗潭／可産の達磨六面図／乃木大将の達磨など
- 20日(水) 第2回目 屏風と御開山：彌天一州禅師の聯など
俳句屏風の内から数点／森二鳳の龍虎図／山本養和の許由巢父図／川谷尚亭の書
萩の花／余語翠巖の道了大権現など
- 21日(木) 第3回目 禪家の画と墨蹟の紹介
乾隆版大蔵經の三徳法主道影／真際一文の楞嚴呪曼陀羅／田崎草堂の虎寒山拾得図／長崎派の韋駄天尊図／嶋本風外の下載清風図／俳画の大家の寄せ書き秋萩の図など
- 22日(金) 第4回目 禅家の墨蹟の紹介と小林一茶
五山の胡枝花／大徳寺管長宗般玄芳の秋萩／良寛和尚と本高風外／一休禅師と沢庵・白隠・隠元禅師など
- 23日(土・祝) 午前9時 世界の恒久平和と人と自然との共生を祈る文化の祭典
午前11時 道了大権現探灯大護摩供・火渡り
午後1時 金峯山修験本宗道了講；日野英心大僧正
午後1時 萩の寺バイオリン教室弦楽奉納
24日(日) 午前10時 秋彼岸大せがき放生会／あごなし地藏縁日
- コロナ禍未だ不安定につき、マスク着用・手の消毒にご協力をお願いします。
 - 本年もお茶の点出しや大茶会は見送らせていただきました。
 - 上記予定は都合により変更されることがあります。ご容赦ください。



去る6月19日、新西国三十八霊場の役員会並びに総会が、ここ十二番礼所の萩の寺で開催され、長内豊中市長からも歓迎のあいさつを頂戴した。昭和58年の新年会以来40年ぶりの開催で、27か寺35人が参集された。須磨寺の小池貴主の導師に依る法衆が、本尊「行基菩薩・薬師如来」に上供され、最後は全員で真言が唱和された。霊場会が無事円成ののち、聖徳太子ゆかりの寺院の懇請を受け、特に秘仏「赤眼孝養像」を開扉させていただきました。萩の寺の聖徳太子孝養像は、父・用明天皇の死の近いことを感得して、涙で目が赤く悲しみをこらえた聖徳太子像として有名です。太子生誕の橘寺、御霊の鎮まる観福寺、太子の叔父・蘇我馬子草創の飛鳥寺、この三方が同時にお参りされるような事は、恐らく千載一隅の勝縁であつたと、心から感謝いたしております。

萩の寺永代納骨供養塔墓

「吉祥林永代塔」

- お子様がなく、お墓を守ってくださる後継者のいない方
- お子様に、お墓参りや年回供養の面倒をかけたくない方
- 故郷のお墓との縁がなくなり、新たにやすく場をお探しの方
- 単身の方で、没後の御自身のお供養でお悩みの方

その他、現代社会のニーズに応え、様々な方々の安心のために作られた新しい、しかし長い歴史により紡がれてきた正しき伝統を守り続ける永代供養です。



吉祥林永代塔



吉祥林永代塔 (ホワイト・ブツダ)

ご遺骨を納め、境内墓苑全体の御本尊・釈迦如来白仏尊の加被力のもと、歴史と伝統を誇る萩の寺の霊場の土にお還りいただきます。決して侵される事のない結果・霊域の中で、今は亡き人の御霊を不断にお護りいたします。

毎月のご縁日

- 1日/道了大権現お一日参り (火神商神、火盗厄除、心願成就、鉄道・航空交通安全)
- 24日/あごなし地藏尊ご縁日 (歯痛・口中の病平癒、水子供養、子授・子安、良縁招来、家内安全)

東照閣仏舍利殿

【豊中市有形文化財】

永代祠堂霊名簿に今は亡き人の御尊名を記載するとともに東照閣仏舍利殿に永代祠立碑を建て、不断にお供養いたします。スリランカ国アヌラダプラより招来した釈迦様の舍利(真骨)に護られる有り難き御堂において、手厚くお祀りいたします。

資料請求やお問合せは下記へお気軽にどうぞ

東光院 萩の寺 代表電話 06-6852-3002 供養相談専用電話 06-6855-7178
【萩の寺 ホームページ】 <https://www.haginofera.or.jp/>